平成27年度施策評価シート(平成26年度実施事業)

公園•緑地

作成主管課 都市計画課 商工観光課 関係課 管理課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策 第4章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 政策体系 小政策 1 だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます 本市は、笠間県立自然公園、吾国愛宕県立自然公園など緑豊かな環境を有し、こうした環境を背景に、芸術の 森公園や総合公園、北山公園、つつじ公園、運動公園など多種多様な公園が整備され、観光やスポーツ・レク リエーションなどを通したさまざまな交流の場として、多くの市民や来訪者に親しまれています。 本市ではこれまで、だれもが安心・安全に利用できるよう老朽化した公園施設の改修やバリアフリー化の推進、 さらには、災害時の避難場所としての機能確保などに努めてきました。また、市民生活の身近な公園となるよう笠 |間市都市公園グリーンパートナー制度を創設し、地域の自主的な維持管理体制を推進してきました。しかしなが ら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被害を受け、防災活動の拠点としての公園等の必要性・重 要性について改めて再認識したところです。

施策名

今後は、市民と行政の協働による緑豊かな自然環境の保全と活用を図るとともに、東日本大震災を教訓とした、 防災機能を有した公園の配置やバリアフリー化等により、市民の健康が増進されるよう癒しの空間づくりを進めて いく必要があります。

施第コード

4-1-2

災害時における避難場所としての機能強化やバリアフリー化を推進するとともに、地域の憩いの場となるよう市民 と行政の協働による維持管理体制を構築します。

1 総合計画進行管理

公園整備(遊具増設・広く安全)を望む。

意見 反応等

友部地区への公園増設を望む ・愛宕山公園整備(二の鳥居の修繕)を望む。

の目標値10㎡/人を目標とする。

(1)目標指標1

市民実感度指標			H24	H25	H26	H27	H28
公園が地域の憩いの場になっていると感じてい	市民実感度	35.830	39.360	35.940	31.190		
る市民の割合	加重平均值	2.220	2.328	2.243	2.327		
	市民実感度						
	加重平均值						
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		85.570	86.350	86.530		
	加重平均值		3.358	3.291	3.317		

の考え方

数値指標	単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28				
WIE JE W	目標値	m ²		8.93	8.93	9.24	9.24	9.31			
	実績値	m ²	8.93	9.01	9.30	9.34	0.24	0.0			
市民1人当たりの公園面積			0.93								
	達成度	%		100.90	104.14	101.08					
		マーク									
	目標値	箇所		5	6	7	7	8			
市民と行政の協働による維持管	実績値	箇所	3	4	4	5					
理公園数	達成度	%		80.00	66.67	71.43					
		マーク									
実績値達成度											
		%									
		マーク									
目標値 実績値 達成度											
		%									
	マーク										
		人当たりの公園整備面積で把握する。 「政の協働による維持管理体制(グリーンパートナー制度)締結公園数で把握する。									
_ de S 1.	業団地内公園の	団地内公園の都市公園昇格の検討や、笠間芸術の森公園の整備推進による、都市公園法									

市民による維持管理公園を、市内21都市公園の内運動公園等を除く16公園の半数を目標とする。

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

水や緑の大切さを理解し、自然環境を守る。 市民の役割

- ・公園や緑地の維持管理に協力し、除草・清掃などを主体的におこなう。
- ・各公園を利用し多彩な行事を自主的に実施する。

市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。

- 自然環境保全に関する意識の啓発を行う。
- ・グリーンパートナー制度(維持管理体制)の啓発を行い、市民ともに都市公園の維持管理を行う。
- ・笠間芸術の森公園等を活用し、観光やスポーツ・レクリエーションなどを通したさまざまな交流を推進する。

市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と恊働でやるべきこと

市民や観光客が快適に利用できるように施設等の整備を行う。

3 平成26年度の取組状況

取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。

取組状況等

行政の役割

- ・平成27年度以降の公園施設の維持管理費の平準化を図るため、公園施設長寿命化計画を策定した。
- ・指定管理及びグリーンパートナー制度による公園の維持管理。

4 施策の評価(現状分析)

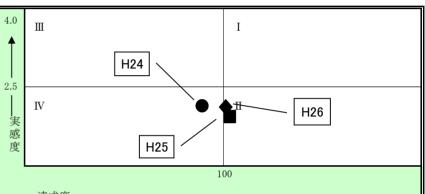
○市民実感度指標と数値指標の分析による当該施策の位置

領域 Ⅰ 現状を維持しつつ, 効率化を目指す領域

領域Ⅱ 施策を構成する事務事業及び事業内容等を見直し 市民実感度を高める必要のある領域

領域Ⅲ 施策並びに構成する事務事業の必要性を検討する

領域IV 施策の重点化を図り市民実感度を高める必要がある



達成度

指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価

- ・指定管理及びグリーンパートナー制度により継続的な公園の適正管理体制を維持できた。
- ・笠間芸術の森公園の年間来園者数が90万人を突破した。

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業 の適正性

市民や観光客が快適に利用できるように施設を整備することは、構成事務事業は適正であり、事業の拡充を図る必要が ある。

平成27年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題

- ・公園施設長寿命化計画に則った公園施設の維持管理及び更新事業の事業化
- ・老朽化した施設等の維持管理
- ・グリーンパートナー制度の活用促進。

5 今後の方向性



平成28年度に向けた施策方針

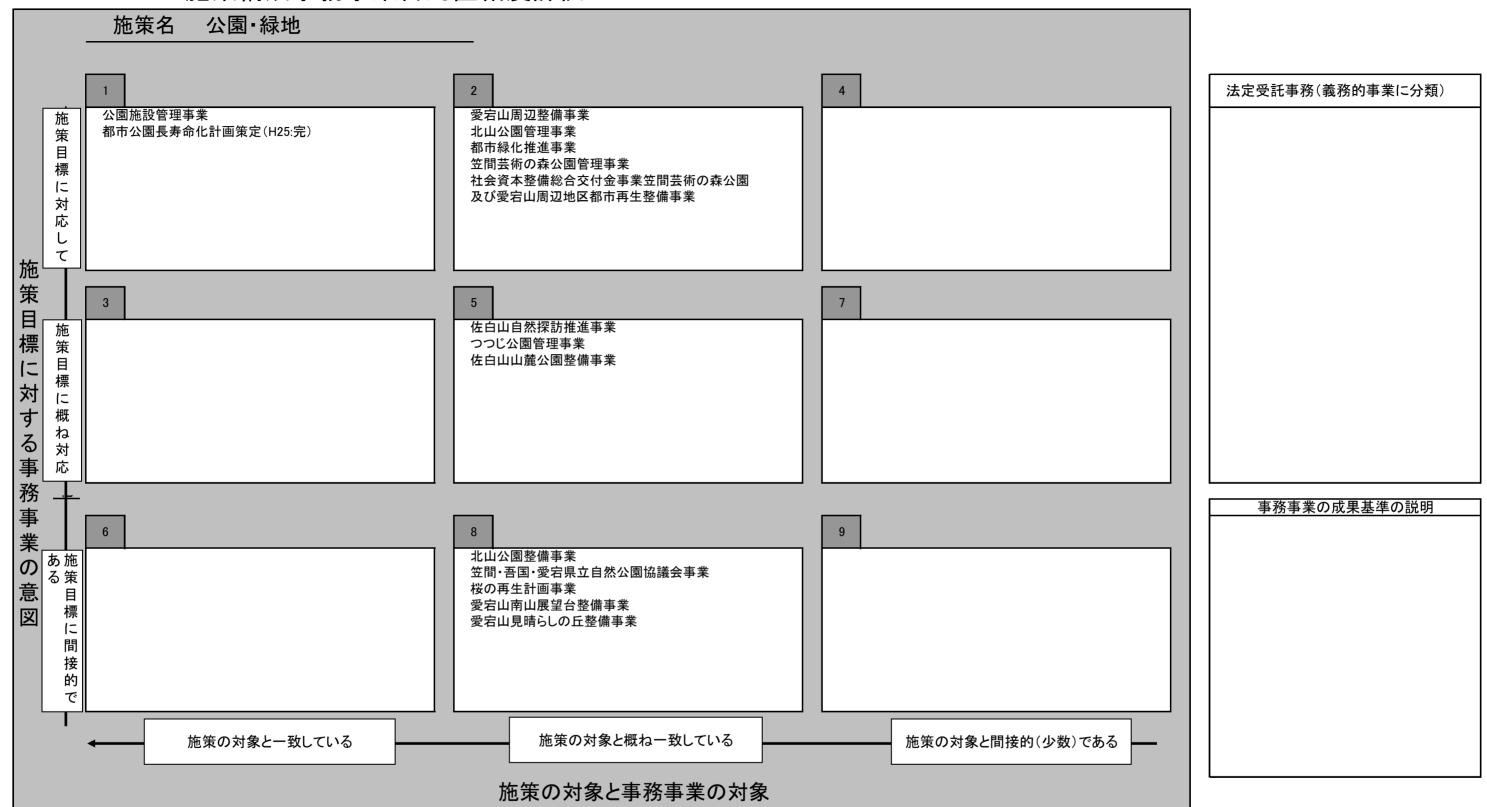
取組方針

- ・公園施設長寿命化計画による関係課との目標の共有化と、補助事業による事業化
- ・市民と行政の協働による維持管理体制を推進する。

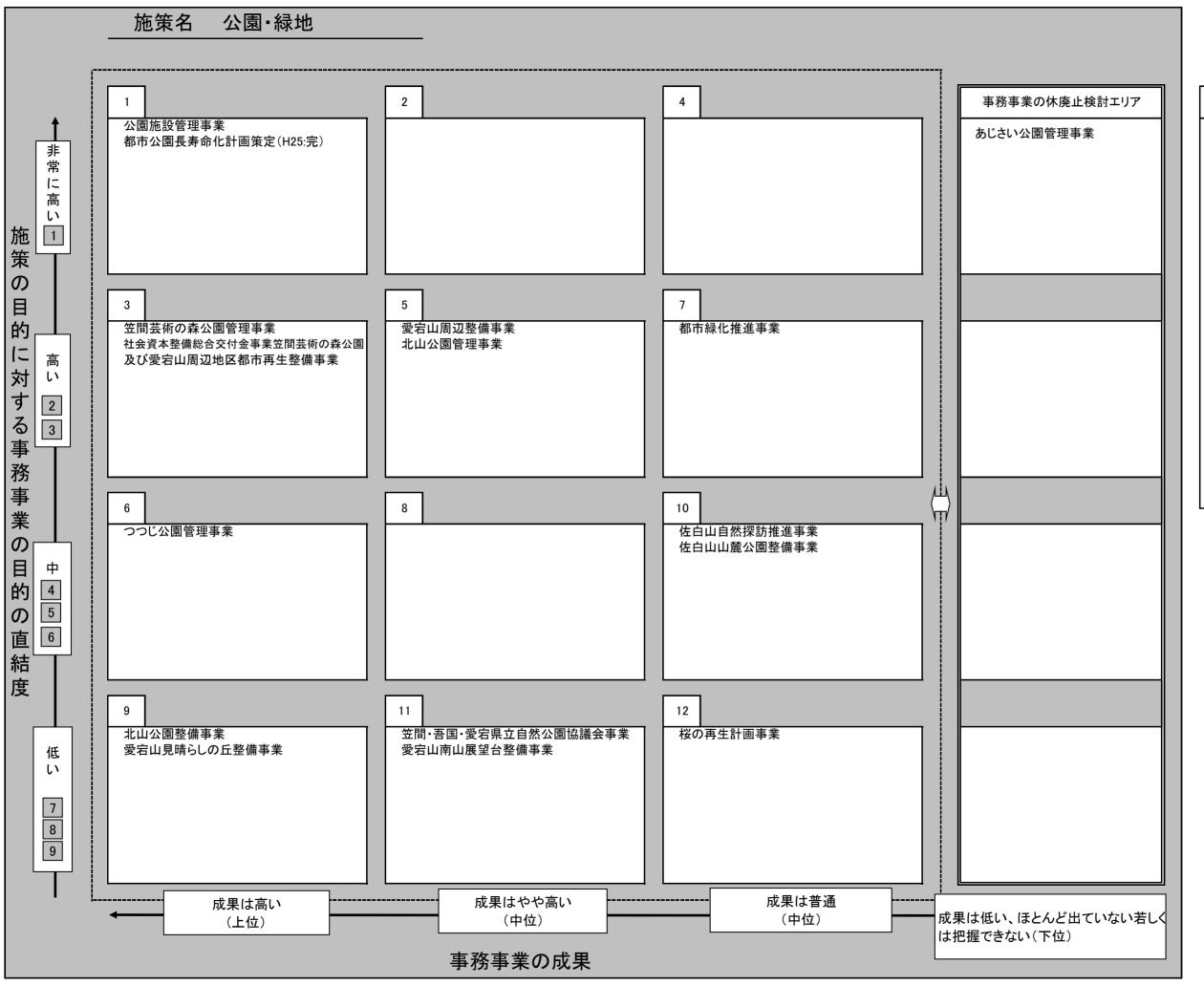
シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業事業内容	****	士水士业 加 55	成果					사 및 마소		事業費(千円)		元 赴成初伊
	事業 <u></u> 平業 四 で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事務事業性質	成果指標	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	貢献度評価
1 佐白山自然探訪推進事業	観光拠点である佐白山周辺を整備することにより、山麓公園や 稲荷神社などを含めた回遊性と滞留時間の延長を図る。	建設•整備事業	利用者数	人	5,000	5,000	5,000	市単	13,556	6,180		10
2 愛宕山周辺整備事業	地域との連携を深めた「通年型観光拠点施設」として、指定管理 者制度を活用し稼働率の向上を図る。	維持管理事業	稼働率(宿泊人数)	%	45	36	36	市単	15,408	20,791	15,794	5
3 北山公園管理事業	市民や観光客が北山公園の自然環境に親しみながら、観光レク リエーション及びスポーツ活動、健康増進に活用できるように園内 の維持管理を行う。	維持管理事業	入園者数	人	210,000	154,335	127,514	市単	17,950	19,281	19,192	5
4 北山公園整備事業	市民や観光客が北山公園の自然環境に親しみながら、観光レク リエーション及びスポーツ活動、健康増進に活用できるように新池 及び散策路等の整備を行う。	建設·整備事業	入園者数	人	210,000	154,336	127,514	国補助	31,479	13,300	26,109	9
5 つつじ公園管理事業	つつじままつり開催に向け、年間を通してつつじの剪定・伐採、消毒、除草等を行う。	維持管理事業	入園者数	人	65,000	45,637	42,436	市単	31,815	37,244	34,896	6
6 笠間·吾国·愛宕県立自然公園協議会事業	笠間市・石岡市・桜川市で協議会を構成し、県立自然公園の施設の修繕、ハイキングコース周知のためハイキング大会の開催等により、普及促進を図る。	維持管理事業	ハイキング参加数	人	48	98	110	市単	557	358	358	11
7 桜の再生計画事業	地域住民及び観光客のレクリエーション地域である愛宕山・佐 白山周辺の桜を再生することにより、賑わいのある観光地域として の観光振興を図る。	維持管理事業	愛宕山桜まつり入込客 数	人	26,600	25,500	22,500	市単	999	494	976	12
8 愛宕山南山展望台整備事業	・南山展望台眺望確保のための土地賃借面積測量業務委託・南山展望台眺望確保整備工事	建設•整備事業	愛宕山桜まつり入込客 数	人	26,600	25,500	22,500	市単	1,350	_	_	11
9 あじさい公園管理事業	土地開発基金で所有する公園用地を行政財産へ買戻し後、公園内の老朽化した休憩施設と東屋の解体工事を実施する。	維持管理事業	つつじまつり入込客数	人	48,132	45,637	42,436	市単	7,968	2,604	_	休廃止
0 公園施設管理事業	管理課所管都市公園(18箇所)及び管理地等(17箇所)について、除草・清掃作業・殺虫剤散布・その他維持管理を行う。公園が、近隣住民の憩いの場となる距離にあるため、誰もが訪れやすく利用しやすい環境を整える必要がある。	維持管理事業	修繕件数	件	5	22	13	市単	6,864	19,306	14,796	1
1 都市緑化推進事業	都市緑化推進期間(10月)に、県などと共催で都市緑化祭(秋1回)を実施する。都市緑化祭を通じて、市民に広く緑化推進を普及させるためのイベントを実施する。	政策的事業	イベント参加者数	人	1,800	2,060	3,920	市単	172	147	127	7
2 笠間芸術の森公園管理事業	茨城県が整備した笠間芸術の森公園について笠間市が指定管理者となり、公園使用許可等の業務を含めた公園管理業務一式を行っている。	維持管理事業	入園者数	人	650,000	923,811	890,396	県補助	101,427	101,334	118,932	3
3 都市公園長寿命化計画策定	公園施設の計画的な維持管理の方針を定め、安全性確保と機能保全を図り、維持管理費の平準化を図るための計画を策定する。	計画策定事務	計画策定	箇所	-	23	_	国補助	-	6,122	_	H25:完
4 佐白山山麓公園整備事業	佐白山の山麓公園は、昔から市民や観光客の憩いの公園であったが、近年古木が目立つため、枯木の伐採や新たに植栽を行い 春は桜、秋はもみじを楽しめる公園になるよう整備を実施する。	建設•整備事業	つつじまつり入込客数日動美術館入館者数	人人	-	45,637 30,000	42,426 28,389		-	2,415	_	10
5 愛宕山見晴らしの丘整備事業	愛宕山ハイキングコース内の「見晴らしの丘」を整備し、来訪者が 休憩しながら眺望を楽しめる憩いの場を提供する。 ・見晴台 1基	建設•整備事業	入込観光客数 フォレストハウス案内所 利用者数	人人	-	3,350,000 12,000	3,500,000(仮) 14,488	県補助	_	6,080	_	9
社会資本整備総合交付金事業 6 笠間芸術の森公園及び愛宕山周 辺地区都市再生整備事業	歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ,自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれた環境拠点として,人と環境にやさしい観光基盤整備を行う。	建設•整備事業	地場産材を活用した広場整備 歩道景観整備	箇所 m	-	_	_	国補助	_	_	5,410	3
.7												
.8												
事業費合計								229,545	235,656	236,590		

シート1施策構成事務事業目的直結度評価



シート2施策構成事務事業貢献度評価



法定受託事務(義務的事業に分類)

事務事業の成果基準の説明